

| | | | | | | | | |
|---------------------|--|--------------|-----------|------|-------|-----|------|----|
| 学科名 | 電気通信工学科 | | | | | | | |
| 科目名 | 電気電子情報工学実験 I Experiments of Electrical Electronic and Computer Engineering I | | | | | | | |
| 科目区分 | 専門科目 | 単位数 | 2単位 | 開講時期 | 3年次前期 | | | |
| 必修・選択の別 | 必修科目(組込みシステムコース)/必修科目(電気エネルギーコース)/必修科目(情報システムコース) | | | | | | | |
| 担当者 | 喜屋武 毅、白土 浩、松崎 隆哲、ほか2名 | | | | | | | |
| 授業の到達目標 (シラバスから) | <ul style="list-style-type: none"> 増幅器の利得と周波数特性、トランジスタ増幅器の基本的事項を理解する。 演算増幅回路を理解し、比例、積分、微分回路に応用できる。 発振回路の発振条件や発振周波数などの計算ができる。 直流機の原理を理解し、各種の損失に分離する方法を理解する。 変圧器の等価回路定数を求め、特性を算出できる。 | | | | | | | |
| 日程と内容 | 4/11 第1回：トランジスタ増幅 4/18 第2回：トランジスタ増幅 4/25 第3回：課題に対する調査、まとめ 5/ 2 第4回：演算増幅器 5/09 第5回：演算増幅器 5/16 第6回：課題に対する調査、まとめ 5/23 第7回：発振回路 5/30 第8回：発振回路 6/ 6 第9回：課題に対する調査、まとめ 6/13 第10回：直流機 6/20 第11回：直流機 6/27 第12回：課題に対する調査、まとめ 7/ 4 第13回：変圧器 7/11 第14回：変圧器 7/18 第15回：課題に対する調査、まとめ 7/25 第16回：予備日・レポート最終提出日 | | | | | | | |
| 成績評価基準 | 定期試験 | 60% | 実技 | 0% | 臨時試験 | 20% | 部外評価 | 0% |
| | 報告書・レポート | 20% | プレゼンテーション | 0% | 課題 | 0% | | |
| | 演習 | 0% | 計 | 100% | | | | |
| 授業到達目標の達成度 | 概ね到達目標は達成できている。 | | | | | | | |
| 反省点 | レポートの遅刻提出率が高いため、改善する必要があると思われる。 | | | | | | | |
| 来年度の計画 | 基本的に今年度同様に5テーマを全ての学生が実施する体制は継続する。ただし、実験書は工夫を加え、課題を進めることでレポート作成の補助となるように改良をしたい。 | | | | | | | |
| 授業評価アンケートに対するコメント | アンケート結果は全学平均と概ね一致している。実験科目においてレポート作成および提出は必須であるにも拘わらず、多くの学生が提出期限を守れていない。学年が上がる毎に実験の高度専門性が増すことは必然であると思われるため、学生自身も自覚を持った受講態度を示して欲しいと考える。 また、T.A.を各テーマ毎に配置しており、担当教員も時間外のレポート対応をすることを事前に伝えているため、これを活用し期限内のレポート作成を目指せるように頑張りたい。 | | | | | | | |
| 履修登録者数 | 63名 | 定期試験 受験者数 | 63名 | 合格者数 | 54名 | 合格率 | 86% | |